

4

2011

卯月

西海市



すくらむ

社協だより

大好きなママと
親子教室

大島の“ほほえみ”

(関連記事4ページ)

“ひきこもり”で 悩んでいませんか？

会社や学校に行かず、自宅でほとんどの時間を過ごす状態のひきこもり。

厚生労働省によると、全国には100万人、約26万世帯のひきこもり者が抱える世帯が存在すると推計されています。



説明に熱心に耳を傾ける民生委員児童委員

社協では、地域の身近な相談役の民生委員児童委員を対象に、ひきこもりに関する学習会を2月25日、西海総合福祉センターで開きました。ひきこもりについて正しく理解しようと、西彼保健所と共同で開催。

長崎県県央保健所の保健師と長崎こども・女性・障害者支援センターの医師を講師に招き、ひきこもりの特徴や相談の状況について、63人が熱心に耳を傾けました。

ひきこもりの定義

6カ月以上自宅にひきこもって、会社や学校に行かず、家族以外との親密な対人関係がない状態のこと。
(厚生労働省)

体験者の声

西海町 10代男性

いじめきっかけに

朝になるとお腹が痛くなり、小学校低学年の頃から学校を休むようになった。いじめを受けていることを誰にも言えなくて、周囲の視線や言葉が気になり、嫌なことが頭を駆け巡った。

中学や高校の頃も、家で読書やゲームをして過ごす日々が続き、時に昼と夜の生活が逆転する時期もあった。

でも、もう一度心から笑える心を取り戻したい。その思いが自分を突き動かした。それから仕事を探しながら車の免許をとり、今は週5日、アルバイトをしている。小説を書く目標もできた。

家族の声

雨が止み 晴れる日きつと

「なぜだろう」。最初は、学校に行かない息子を心配したが、ずっと家族で見守り続けた。何が変わるきっかけになればとの思いから、原付バイクや車の免許取得を勧めたりした。

近所の方の理解もあり、息子をいつも見守り、声をかけてくれていた。

同じ思いをしている家族の方へ。いつまでも雨は降り続かない。そのうちに晴れる日がきつとくる。



悩んだらまず相談

〔ひきこもりに関する
相談を受けている機関〕

西彼保健所

長崎市滑石

電話 095 856 5159

長崎こども・女性・ 障害者支援センター

長崎市橋口町

電話 095 846 5115

西海市社会福祉協議会

西海市西海町

電話 29 4081

ひきこもりの背景に精神疾患の影響が考えられる場合には、精神科・心療内科のある病院やクリニックなどの相談窓口があります。また、当事者や家族会のつどいなどの支援団体もあります。

● 家族が心がけるポイント ●

追い打ちをかけるようなことはしない
「怠け」や「甘え」、将来や友達の話は禁句
親も自分の楽しみをもつ
できない約束はしない
暴力には毅然と対応する

平均開始年齢

22.3歳

男性に多い

・国が行った20歳以上のひきこもりの経験がある人を対象にした調査によると、ひきこもりの平均開始年齢は22・3歳で、生涯に一度はひきこもり経験がある人の割合が1・2%。
年齢別では、30～40歳代

男性20代に多い……
ひきこもり

より20歳代が多く、また男性に多いことがわかりました。

また、長崎県内には約3000世帯のひきこもりの方がいると推計されています。

きつがけは様々……

ひきこもりになるきつがけは様々で、精神疾患が影響している場合もあれば、挫折やいじめ体験などが原因となっている場合、とりたてて原因といえるものが見つからない場合もあります。

ひきこもりは病気や障がいではなく、ひとつの「状態」を指す言葉です。

何とがしたいけど……
本人の気持ち

・本人も心のどこかで「何とかしたい」「自分を理解してほしい」という気持ちを抱いているのに、それができない自分に悩み苦しんでいます。

「ありのままの自分」を認めてくれる他者の存在が必要で、その安心感や自信が次のステップにつながるかもしれません。

「いつが回復」……
家族の理解とサポート

戸惑い、混乱、焦り……
悩みを抱えているのは家族

族もまた同じです。中には「育て方が悪かったのでは」と自分を責める人も。

家族だけで問題を抱え込み、行き詰ってしまいうこともあります。思い切った専門機関に相談してみてもいいかがでしょうか。少し問題を整理することで、解決の糸口になるかもしれません。

家族の対応は「励まし」より「ありのままの本人を認める」こと、「いつか回復できる時がくる」と、家族が心に留めておくことが大切です。

一歩踏み出し……
家族会や
自助グループ

ひきこもりの状態から一歩を踏み出す場所として、当事者が集まる自助グループや、家族同士がお互いの悩みを語り合い、交流を図る家族会などがあります。

社協では平成23年度、ひきこもりの理解を深めるため、ひきこもりの方の家族や市民を対象にした研修会などを予定しています。

孤立しない……
温かい目を

地域で身近にできる支援として、ひきこもりについて正しく理解し、相談機関を知り、また紹介することも方法のひとつです。
さりげない見守りや声かけで、本人や家族が孤立しないよう、温かい目で見守っていきましょう。

23組の親子に修了証

子育て中の親の支援と親子の居場所づくりに取り組み、親子教室「ほほえみ」の修了式が3月16日、大島児童館で行われ、23組の親子が修了証を手に入れました。

今年で12年目になる教室は、親子が気軽に交流できる機会をつくらうと大島地区民生委員児童委員協議会が主催。7人のボランティアも協力し、毎週1回、工作

や体操などで楽しんでいきます。

玉崎隆司会長が一人ひとりに修了証を手渡し、「友達の輪、子育ての輪を広げてほしい」とあいさつ。

4月から幼稚園に通う富永かなでちゃん(4)は、大きくならお母さんみたにお料理がしたいです」と元氣よく発表。また、母親の中には「ほほえみで悩みを聞いてもらって、楽な気持ちで子どもと接することができた。周りの人に支えてもらった」と話す人もいました。



修了証を受け取る子どもたち

大島 親子教室

「ほほえみ」

「ごみ出しや緊急時 不安」 松島でひとり暮らし高齢者が意見交換



「普段の声かけから」と意見を交わすお年寄り

大瀬戸町松島の^{ほんむら}本村地区では福祉推進員、民生委員児童委員、行政區長が連携し、65歳以上のひとり暮らし高齢者の緊急連絡先をまとめた情報を冷蔵庫に保管するなど、地域で助け合う活動に力を入れていきます。生活上の困り事などお年寄りの声を聞くための意見交換会が3月1

日、地区の公民館で開かれました。参加した11人のお年寄りからは「ごみ出しや緊急時が不安」一声かけてもらうと元氣が出るなどの声も。集いを企画した福祉推進員の山口勇さんは「自分から地域と接点を持つように心がけ、子どもからお年寄りまでみんなが声を掛け合う松島になれば」と地域の見守りを呼び掛けました。いかに助け合っていくか。地域で支え合う活動が今、求められています。



元氣よく歌を披露する生徒

西彼中音楽部

お年寄りに まごころ演奏

西彼中学校の音楽部が3月19日、せいひデイサービスセンターを訪れ、ミニコンサートを開きました。お年寄りと交流を深め、音楽を楽しんでもらおうと今回で3回目。

音楽部の生徒5人は、^こ箏の二重奏やヴァイオリン独奏曲など15曲を披露。また、生徒が考えた「黒ネコのタンゴ」の曲に合わせた体操と一緒に体を動かしたり、「ふるさと」や「七つの子」などの歌に、利用者と声を合わせました。まごころいっぱい演奏に感動で涙する利用者も。最後に、利用者の「また来てね」の言葉に、「お元氣でいてください」と生徒が手を握りながら話しました。

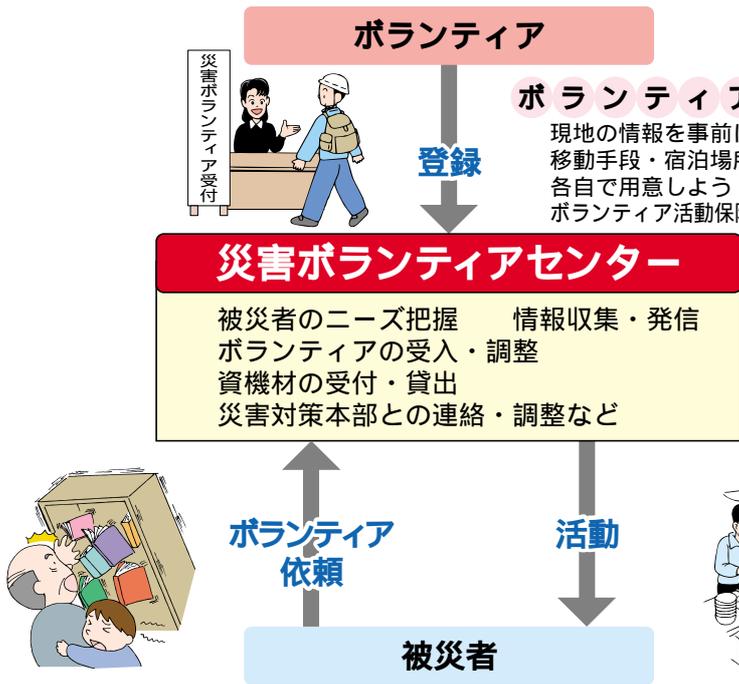


災害ボランティアセンター

助け合いの心 つなぐ

津波で被害を受けた漁港（写真提供：茨城県出身の方）

災害ボランティアセンターのしくみ



ボランティアの心得

現地の情報を事前に調べよう
移動手段・宿泊場所・食事は各自で用意しよう
ボランティア活動保険に加入しよう

炊き出し、家屋の片付け、話し相手…。地震や水害などの災害時に「被災地のために何かしたい」と、全国からボランティアが支援に駆けつけます。そのボランティアと被災者を結びつける役割を担うのが「災害ボランティアセンター」です。被災地の社会福祉協議会

被災者への心配り
ボランティアをする上で忘れてはならないのは「被災者への心配り」。被災者の気持ちや立場に立つて行動する心が一番大切です。ボランティアをすることで被災者のニーズ把握やボランティアの調整などを行います。被災者のニーズ把握が多くなることが多く、被災地が立ち上がることを助けます。

有料広告 お気軽にご相談ください

- 債務整理（借金の整理）
・返済がきつい、取立てがきつい、生活費もままならないなど
→解決策はあります。あきらめずにご相談ください。（相談無料）
- 訴訟 訴状が届いたら放置せず必ずご相談ください。
- 訪問販売などの契約に関する事
- 相続・遺言に関する事
- 土地・建物・登記に関する事
- 成年後見に関する事

借金はすべて支払ってしまったのに、その債権の譲渡を受けたと言って、金銭の請求をされるケースがあります。身に覚えのない請求であれば、安易に支払ったりせず、まず、ご相談ください。

交通手段を持たない方、出張致します。（費用不要）

みなと司法書士法人西海事務所 司法書士 中山雄一

西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷1133 秘密は固く守られます。

電話 0959 - 37 - 0780

私たちにできること

東北関東大震災に係る義援金の募集

3月11日に発生した東北関東大震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。被災地の復興や救援活動を資金面で支援するため、募金を受け付けています。

募金は中央共同募金会を通じて被災地に送金します。皆様のご協力をお願いいたします。

市民の皆様

共同募金会西海市支会
（西海市社協）

中央共同募金会

被災地

募金受付場所：西海市社協本所・各支所

「福祉総合講座」

《講師の先生方は地域のボランティアです》

社協では、自ら学びながら生きがいと心豊かなふれあいの輪を広げようと、昭和59年から「福祉総合講座」を開いています。講座はいくつでも受講できますので、ぜひお気軽にご参加ください。きっとそこには新たな発見と感動が待っています。



楽しく練習する民踊科の皆さん

期間：平成23年4月～平成24年3月 場所：**崎戸社会福祉センター**（崎戸町蛸浦郷1791番地7）

講座名	講師	内容	開催日/時間
囲碁科	平山 茂先生	奥深い碁のルールや手筋などの基礎から楽しく学び、対局まで	毎週火曜日 / 13時～16時 毎週木曜日 / 18時30分～21時
大正琴科	福岡 チヲ先生	昔懐かしい音色で童謡など親しみやすい音楽を演奏	第2・4金曜日 / 10時～11時
手話科	渡木アヤ子先生	手話の基礎知識や挨拶、自己紹介、手話コースを楽しみます	第4木曜日 / 19時30分～21時
健康体操科	尾崎 君子先生	肩こり、腰痛等でお悩みの方や健康増進のために	毎週水曜日 / 19時～21時
民踊科	尾崎 昌代先生	音楽に合わせて楽しく、美しく踊りませんか。普段着でも大丈夫	第1～4金曜日 / 19時30分～21時
詩吟科	濱田 定先生	民謡・歌謡・和歌・俳句など日本文化の心に触れます	第2・4月曜日 / 19時～21時
カラオケ科	大岩眞智子先生	歌い方の基本、発声、音程などを練習	第1・3火曜日 / 13時30分～15時
書道科	津端マツエ先生	毛筆に加え、あて名書きや、のし袋書きも練習	第2・4月曜日 / 13時30分～15時

「こんな講座を開いてほしい」などのご要望がありましたらご相談ください。
講師や開催日程が整い、新規に開催する場合はお知らせします。

【申し込み・お問い合わせ先】西海市社協崎戸支所 電話 35 - 3555

有料広告

見積無料

「お仏壇のお洗濯・
総塗替のめやす」

仏壇寸法	お洗濯	総塗替
戸巾 45cm	80,000円より	250,000円より
戸巾 60cm	190,000円より	290,000円より
戸巾 85cm	380,000円より	600,000円より
戸巾 100cm	600,000円より	980,000円より

修復はお仏壇の仕様やいたみの度合いによって差があります。
お仏壇の修復はお気軽にご相談ください。



仏壇、仏具 製作・修理
寺院ご内陣、納骨堂 製作・修理

池田仏具店

西海市西海町七釜郷567 - 29
電話・FAX 0959 - 33 - 2123



連絡協だより

西海市福祉団体連絡協議会 社協本所内 電話 29-4111

市身体障害者福祉協会は2月18日、会員相互の交流と健康増進を目的に、大瀬戸総合運動公園の体育館で研修会を行い、会員51人が



狙いを定め一投げ

参加しました。市職員が障害福祉サービスの利用状況や福祉医療費制度について説明。車いすや妊産婦など歩行が困難な人の駐車スペースを確保する「パーキング・パーク」ミット制度」に質問が相次ぎました。

また、長崎県障害者スポーツ協会の指導で、フライングディスク(円盤)を離れた輪に通す回数を競う「アクイリナー」に挑戦。参加者は「狙っていても輪を通すのは難しかった」と苦笑いでいました。

困った時の「電話お願い手帳」

NTT西日本長崎支店から寄贈

NTT西日本長崎支店から、耳や言葉の不自由な人のための「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便(FAX用紙)」各70冊が2月23日、市身体障害者福祉協会に寄贈されました。



電話お願い手帳とふれあい速達便

外先で用件や連絡先を書いて、周りの人に協力をお願いするためのもの、119番へ電話をかけてください」などの依頼文が書いてあります。手帳は市福祉課、各総合支所、社協、身障協の窓口で希望者に無料配布しています。手帳を提示されたら、皆様のご協力をお願いします。

療育

成長する力信じ 就労支援を

障がい者の就労研修会



感想を述べる会員

発達に関する支援が必要。子どもを保護者でつくる「療育を考える会」の会員15人は3月12日、障がい者の就労研修会を西彼保健福祉センターで行いました。日本マクドナルドのフランチやイズ店を経営し、8店舗で12人の障がい者を雇用しているエス・ケイ・フーズ取締役の中村こずえ氏は講演で、「就職を希望す

る人が実際にハンパーガーを作る体験実習会や、雇用者側の研修を行っている」と話しました。

参加者の中には「家族以外に子ども達のことを親身に考えてくれていたことに感動した」と涙する人も。最後に、中村氏は「子ども達の成長する力を信じ、みんなで支援していこう」と呼び掛けました。

ボールの行方に一喜一憂

西彼町支部

市老連西彼町支部は2月23日、西彼保健福祉センターでペタンクの講習会を初めて開き、役員約30人が



球の行方を見定める参加者

楽しみました。ペタンクはフランスが発祥の球技で、金属製のボールを投げて標的の球に近づける競技です。

参加者は、ボールの投げ方やルールを学んだ後、室内用の道具を使って体験。慎重に投げたり、標的の球に近い相手の球に勢いよく当てて押し出すなど、ボールの行方に一喜一憂していました。

どなたでも利用できる社協レンタカー

社協会員や福祉団体は割引

【1日の貸出料金】

料金区分	10人乗りワゴン車	軽自動車椅子リフト車	マイクロバス
一般料金	15,000円	6,000円	25,000円
西海市社協会員	10,000円	5,000円	15,000円
福祉団体	7,500円	3,000円	12,500円
福祉優待		4,000円	

福祉優待料金は、介護保険受給者（要介護1以上の認定を受けている人）、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳保持者及び介助者のご利用に適用されます。

予約受付
申し込み先

平日 8時30分～17時30分まで
西海市社協 電話 29-4081

10人乗りワゴン車



(カーナビ・ETC付)

軽自動車椅子リフト車



25人乗りマイクロバス



(カーナビ・ETC付)

人事異動のお知らせ

次のとおり、社協管理職の人事異動を行いました。

異動（4月1日付）

職名	氏名	旧所属
事務局次長 兼 総務課長	佐々木 正	事務局次長 兼 地域福祉課長
事務局次長 兼 大瀬戸支所長	岩本 さとる 暁	事務局次長 兼 総務課長
地域福祉課長	櫻井 ひろみ 洋観	西海市出向
在宅福祉課長	小川 清子	在宅福祉課 居宅介護班長

退職（3月31日付）

職名	氏名
大瀬戸支所長	田地 富美子

国内観測史上最大の地震となった東日本大震災。親を、子を、友を、暮らしを、一瞬にして奪い去りました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。西海市内では大震災がおきた直後から、義援金や救援物資などの温かな善意が続々と寄せられています。日本が直面している未曾有の危機をどう乗り越えるか。一人ひとりが手を携え、助け合いの輪を力に立ち向かいます。ひるま

編集後記



ご寄付・お礼

2/17、3/16受付分

社会福祉事業資金として次の方々から善意や香典返しの一部を寄付いただきました。地域福祉活動などに大切に活用させていただきます。皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。

忌明寄付

西彼町
朝野正良様
(故 田口五左衛門様)

崎戸町

川山英典様
(故 ミヨコ様)
杉原康子様
(故 松本喜久二様)

大島町
徳永和豊様
(故 トシ工様)
川口治行様
(故 隆四郎様)
大串鈴江様 (故 豊様)
廣田律子様 故 明彦様
坂本栄造様 故 タマ様

西海町

倉本孝義様 故 孝康様
福井マエ工様
(故 康雄様)

大瀬戸町

菜切 優様 故 シキ様
得永京子様 故 嘉明様
小辻誠喜様 故 テツ様
崎尾幸一郎様
(故 キシ様)
岩本 毅様 故 光子様
加来久典様 故 花香様
高尾キヌ工様
(故 松次郎様)
竹本正嗣様 故 トモ様
波戸泰裕様 故 ミツ様
峰崎照美様 故 芳見様

一般寄付
西海町
原口一行様